

第38回うつのみや子ども賞

受賞記念講演

2022年12月18日（日） 宇都宮市立中央図書館

2022年12月18日曜日の午後、宇都宮市立中央図書館にて第38回うつのみやこども賞を受賞した『嘘吹きネットワーク』の著者である久米絵美里先生の記念講演会が行なわれました。「今回受賞の『嘘吹きネットワーク』は、小学生には難しいのでは、という感想をいただくことが多い中、小学生である選定委員の子どもたち自身の手でうつのみやこども賞に選んでいただいたということが、次の本を書くための勇気になる」と受賞の喜びを語ってくださった久米先生は、『嘘吹きネットワーク』ができるまでの流れや仕事の内容から作家になるまでのこと、先生ご自身の好きな作家や本のこと等を、時間いっぱいまでお話してくださいました。

『嘘吹きネットワーク』は小学6年生が主人公です。当初は主人公を中学2年生にするという案もあったそうですが、今は小学生もスマートフォンに接する機会が多いこと、また先生ご自身が高校生の頃、そうとは知らずにチェーンメールを好きな人に送ってしまったという失敗から、「携帯電話やSNSがより身近な存在であり、一度の失敗がデジタルタトゥーとなっていてつまでも残ってしまうネットとかかわっていく今の時代の子どもたちに、できればネット上では失敗しないでほしいという願いをこめて書かれた」物語なのだそうです。先日韓国でも翻訳されて『嘘が満ちた学校』というタイトルで出版され、更に『嘘吹きネットワーク』の続編である『嘘吹きパスワード』が来年1月17日に発売される、という嬉しいニュースも飛び出しました。

会場にも「将来は小説家になりたい」という子どもたちが多く、「作品のモデルはいますか」「文章を書くコツは何ですか」等、小説を書くことに関する質問があがりました。

とにかく本が好きで、8歳のころから「小説家になりたい」という夢をもっていたという久米先生はそれらの質問にも丁寧に答えてくださり、講演会終了後はサイン会も行なわれました。久米先生と直接言葉を交わし、サインを抱えて戻ってきた子どもたちは皆笑顔だったのがとても印象的でした。

